

## アンケート結果

ICD日本部会  
雑誌アンケートの分析結果について広報・編集委員会 担当常任理事 今村 嘉宣  
担当理事 飯島 裕之

ICD広報委員会では、2023年8月15日～9月15日の期間でICD雑誌について、WEBによるアンケート調査を行った。

回答数84で会員数268に対し約31%のフェローのご協力を頂いた事になる。

ご協力を頂いたフェローには、この場を借りて厚く御礼申し上げたい。

今回アンケートに回答のあった会員比率は80%以上が開業医であり、会員歴11年以上が30%、7～10年が22%、4～6年が19%、0～3年が21%であった。雑誌全体についての評価は、「役に立っている」、「まあまあ役に立っている」との回答合計数が78となり、会員の95%より好意的な評価を得た。

雑誌特別企画の学術的内容は、やや満足を含め回答数77で満足とする回答が95%、フェロー投稿の満足度に関しては回答数79で97%が満足との回答であった。好意的に答えていただいているフェローもおられるかと思うが、高い評価を頂いているのは雑誌を作っている広報委員としては安堵の気持ちでいっぱいである。

現在興味のある分野の問いに関しては、インプラン

トや再生医療に関する回答が複数見られた。各フェローのこれまで専門としてきた分野の回答がみられたのは興味深い。最近の回答として、「事業継承について」「今後の歯科界に関する展望と対応」「歯周病」等が見られた。

また、興味のあるものとしては、ゴルフ、旅行、車、スポーツなど多岐にわたる趣味があげられている。一方、ICD雑誌への投稿に関しては「依頼されれば執筆する」が43%、「執筆投稿する気は無い」との回答数が55%であり、投稿に関しては全体的に否定的であった。

投稿を承諾するとの回答の中では原著論文のようなものではなく、軽い解説論文や日ごろの活動報告と答えたフェローが90%を超えていた。

雑誌の電子化については意見が分かれ、電子化でも36%、印刷物が30%、どちらでも34%であった。

以上のように多岐に渡る貴重なご意見を頂き、広報・編集委員会として今後の雑誌編集に大いに参考にさせて頂きたいと考えております。

アンケートにご協力頂き、誠に有難うございました。

## ICD日本部会雑誌についてのアンケート

(実施期間 2023/8/15～9/15)

広報・編集委員会

84 回答数

1. あなたの職業について、該当するものを選んでください。

● 開業医	69
● 勤務医	4
● 大学勤務	7
● 退職している	4



2. あなたのICD会員歴について、該当するものを選んでください。

● 0-3年	18
● 4-6年	16
● 7-10年	19
● 11年以上	31



## 3. ICD日本部会雑誌について

● 役に立っている	42
● まあまあ役に立っている	36
● 役に立っていない	4



## 4. ICD日本部会雑誌の内容について(雑誌全体)

● 非常に満足	30
● やや満足	45
● やや不満	7
● 非常に不満	0



## 5. ICD日本部会雑誌の特別企画の学術的内容について

● 非常に満足	32
● やや満足	45
● やや不満	4
● 非常に不満	0



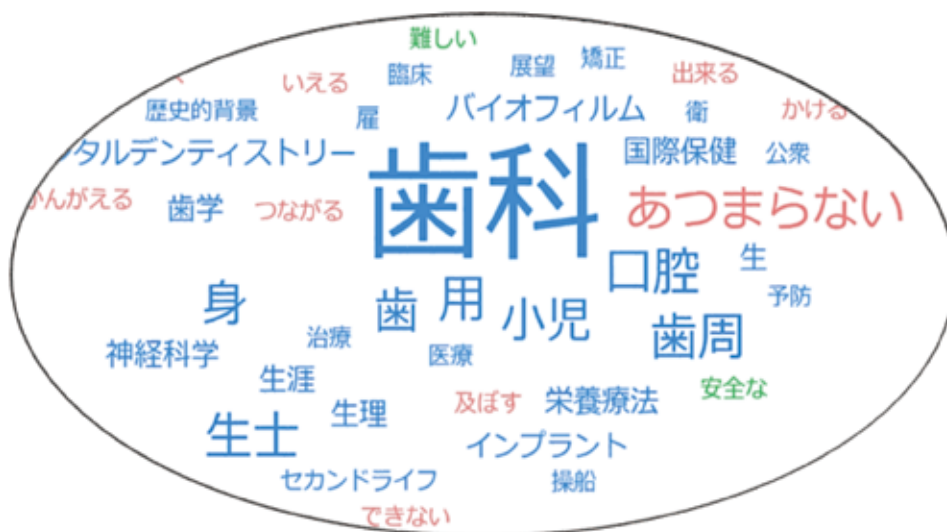
## 6. ICD日本部会雑誌のフェロー投稿原稿について

● 非常に満足	36
● やや満足	43
● やや不満	2
● 非常に不満	0



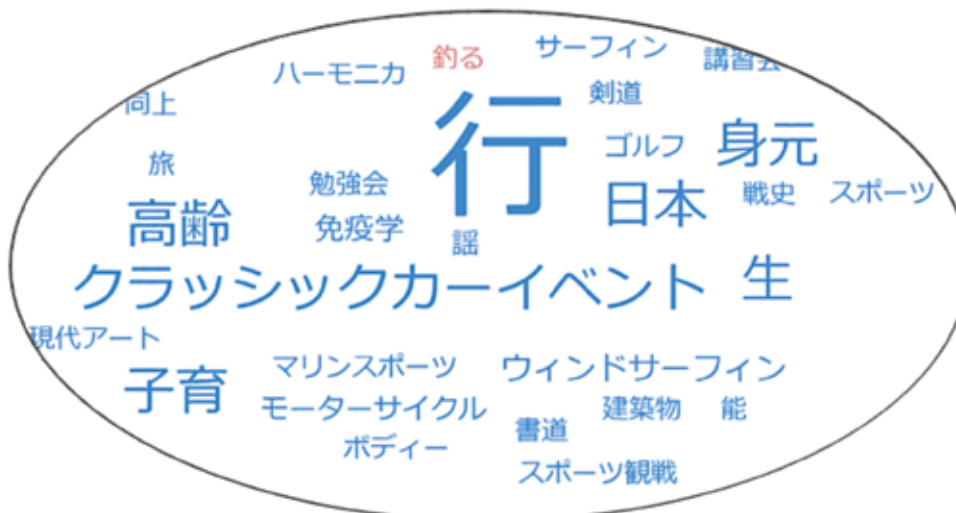
7. 現在興味のある分野を教えてください(仕事)。

72 回答



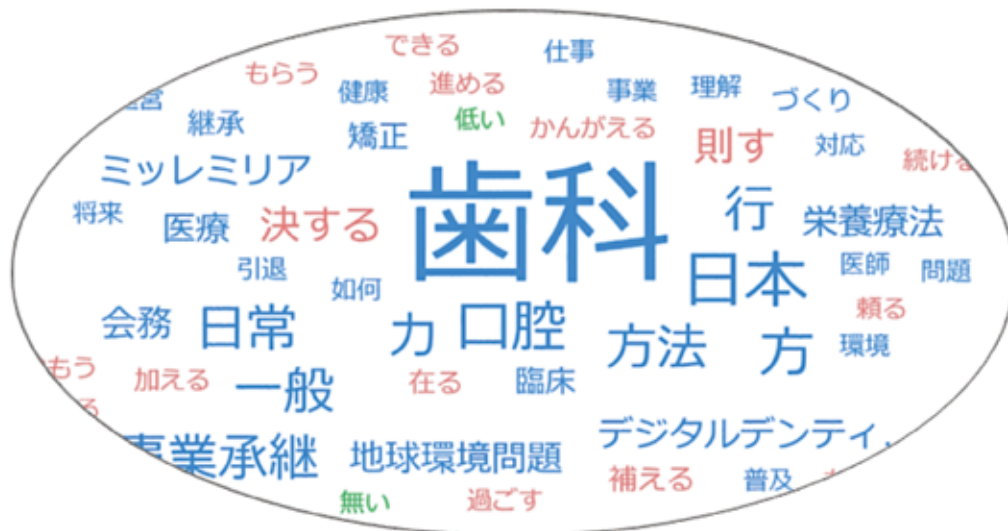
8. 現在興味のある分野を教えてください(趣味)。

71 回答



9. 現在興味のある分野を教えてください(今考えていること)。

59 回答



10. 当学会雑誌(ICD日本部会雑誌)への原稿投稿について

- ①積極的に執筆投稿したい。 1
- ②依頼されれば執筆する。検討… 35
- ③執筆投稿する気はない。執筆… 45



11. 質問10で①、②を選択された方は下記の質問にお答えください。

- 密度ある原著論文を書きたい 3
- 軽い解説論文を書きたい 19
- 日頃の活動の報告を書きたい 15



## 12. ICD日本部会雑誌の電子化配信(印刷雑誌の配布廃止)について



## 13. その他、ご意見・ご要望などございましたらご記入ください。

22 回答

### 13.その他、ご意見・ご要望などございましたらご記入ください。

- 委員の皆様の努力を感じる雑誌に、感激して拝読しています。
- 海外からの留学生やフェロー等の多様な価値観が紹介されることも価値があるのでは
- いつもありがとうございます。
- 運営に携わっておいでの皆様へ感謝申し上げます
- 大変充実した雑誌になってきたと思います。
- シンガポールの学会へ行くとアジアの国の若い先生が、元気よく積極的に参加していてイキイキしてる。対して日本からの若い先生の参加はほとんどない。診察費が低価格で薄利多売と日本はなってるので自己投資にも回せないくらいかつかつの医院経営となっているのではないかと思う。韓国や台湾の医療制度や診療費と比較してみたい。
- 今、世界では何が起きているのか、といった国際的な視点に基づく編集をお願いします。
- 千田元国際会長、斎藤、佐藤両マスターの、これまでの国際交流のお話は非常に興味深かったです。また自分の専門外の論文を読めるのは貴重な機会です。
- 編集担当の先生方（編集委員会の皆様）のご苦勞は、私の経験からもよく承知しています！
- 会務に携わっているフェローの皆様へ深く感謝申し上げます。
- 多方面にわたる活躍をしているフェローの方々の専門分野がわかるように名簿作成に関して専門を記入する枠を設けたらいかがでしょうか？ 将来その方々を時流に合わせて一同に講演会を開催したらいかがでしょうか？ あまり1人の方にクローズアップしない短時間での多人数冬季学会と言う構成も年によりありかと思えます
- 英語の抄録を全て付けてもらっては？ 退職前後は少し人生が変わるので、積極的に投稿していただいては？
- 雑誌の電子化の方向は止められないと思いますが、日本部会の場合事務局 運営に関わってくる部分と密接に連携しています。従って、この部分のこれまでの信頼関係を決して損なわぬよう配慮する方法を同時に考えなければならぬと感じています。
- 目下退会検討中でありませう。
- いつも大変お世話になっておりまして有難うございます。
- 特になし
- 今後ともよろしくお願ひいたします。
- 基礎的研究に携わっており、今後それをどのように研究するかを模索中であるので、雑誌に世界の研究論文や、新しい研究の動向などを調べて載せて頂ければ興味深く幸いです。
- 毎回内容が充実していて満足
- ICDは優秀なDRの集まりなので、他の学会とは違うところを会員で考えていきましょう。
- 現在、アメリカ滞在なので会員名簿作成用調査票は回答できません！ 申し訳ないです！
- 特にありません